

学長からのメッセージ

これから君たちは、新しい世界へと旅立ちます。
それは、大きな希望と夢をリュックの中に入れて、山登りをすることに例えられます。これから君たちが進む道も山登りであり、平たんではないでしょう。

新型コロナウイルスのパンデミック、ウクライナ・ロシア間の戦争等を考えると、未来は不透明です。君たちの進む道は地図もなくGPSもなく、未知の

場所に踏み入れる勇気が必要となるかもしれません。そのような時に、君たちはどうするのか。まず一つ目に、必ず周囲をしっかり観察し、大きな目標を定めてください。次に、足元に注意してください。大きな遠くの目標ばかり見ていると転んでしまう場合もありますから。最後に、感性を大事にしてください。五感を研ぎ澄まし、自分に正直になり、感じたことを冷静に解

析し反芻しながら一步一步進んでください。

しかし、長い人生です。多くの失敗も経験するでしょう。それでも大丈夫です。自暴自棄にならず、挑戦し続けていれば、必ず道は拓けます。継続力は長い人生で大きな武器、力になるのです。

また、自分の道に疑問を持つこともあるでしょう。山登りでは、道に迷えば戻ることが原則です。だから君たちが道に迷い躓いた時は、戻って、再び学び直せばいいのです。君たちの人生は一本道ではありません。左に右に、登ったり下ったり、さらにスタート地点に戻ったり。ぜひ、柔軟に考えてください。

これからも私たちは師弟関係を越えた仲間、校友で、永遠に長崎大学人です。道に迷った時も順風の時も、長崎と長崎大学を思い出し、次の山に向かって地球規模の視点を持って力強く進んでください。

令和4年度卒業生の皆さん、大学院修士課程修了者の皆さん、ご苦労様でした。長崎大学で学んでくれて、ありがとう。そして、卒業おめでとう。

MESSAGE FROM THE PRESIDENT



長崎大学長
河野 茂

CHODAI DOSOとは

CHODAI DOSOとは長崎大学同窓の略です。長崎大学卒の看板を背に社会に出る卒業生の皆さんに、大学への愛着と繋がりを持ち続けていただくため、在学時代の思い出と、長崎大学の誇りをこの1冊に込めました。



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



国立大学法人
長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY CHODAI DOSO 2023

NAGASAKI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION



何かを成し遂げるには人生はとても短いもの やりたいことに挑戦して 後悔しない人生を送ってください

草場道輝

第九の波濤



令和五年
一月二十七日

漫画家
草場道輝さん

水産学部(1994年卒)

KUSABA Michiteru

Profile

長崎県諫早市出身。1971年1月1日生まれ。長崎大学水産学部卒業。1993年と1994年に、週刊少年チャンピオン新人まんが賞奨励賞を受賞。1997年「少年サンデー超」増刊6月号『君と空のあいだで...』で漫画家デビュー。2017年から「週刊少年サンデー」で長崎大学水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』好評連載中! 代表作に『ファンタジスタ』『LOST MAN』『ファンタジスタ ステラ』などがある。



最新刊
22巻

草場先生は
漫画家らしく
イラストでの
登場です!



漫画家になれたのは 幸運でした

村瀬 / どのような大学生活をお過ごしでしたか?

草場 / 本当に普通でしたね。大して特別なこともなくて、授業も真面目に受けていたし、友達とも遊んだし。でもやっぱり、時間ができたら漫画を描いていましたね。

村瀬 / 漫画は学生の頃からお描きになっていたということですが、一度、長崎の会社に就職された後に漫画家に転身されたとのことでした。ここで漫画家の道に進もうと決めた時は、どのような思いでしたか?

草場 / 少しネガティブな話になってしまうのですが、就職した会社はあまり向いていなかったんです。それで、かねてから漫画家になりたいと思っていたので、チャレンジしようと上京しました。だけど、漫画家を目指す方が正直きつかったですね。それでも、好き

だから続けられたと思います。

村瀬 / 上京して漫画家という新しい環境に身を置くことに対して、不安はありませんでしたか?

草場 / そうですね、不安もありましたが、その時は希望の方が大きかったです。ただ、上京するからには期日を決めて、3年だけと両親に約束しました。ちょうど3年で何とかなったので、運が良かったと思います。

水産学部の人脈が 今に生きています

村瀬 / 今回の『第九の波濤』で、ご自身の出身である長崎大学水産学部を舞台として描くに至ったきっかけはありましたか?

草場 / 編集長と次の連載は何にしようか話をしていた時にふと学生時代の話になって、水産学部の思い出を楽しく語っていると「それ面白いんじゃない?」と言われて。海を舞台にした作品はいつか描きたいと思っていたので、ちょうどよい機会でした。

村瀬 / 草場さんはどうして水産学部を選ばれたのでしょうか?

草場 / 地元だったことですね。それに、乗船実習で海外に行けるというのも魅力でした。しかし、実際はきつかったですね。最初の数日は船酔いがひどく、炎天下での漁は体力的にも堪えませんでした。ただ、色々な魚を見ることができたのは面白かったです。

高田 / 釣りも趣味だと伺っていますが。

草場 / そうですね。子どもの頃からよく行っていました。長崎県民は海との距離感が他の地域の

「好きを形」にされた草場さん。
私も短い人生でたくさん形にしていきたいです!



教育学部3年

村瀬晴香

MURASE Haruka

人よりも近いと思います。「水平線の向こうには何があるのだろう」というような、海へのロマンも昔からありましたね。

高田 / 大学時代の経験で、今に生きていることはありますか?

草場 / 過酷な乗船実習や早朝訓練によって多少打たれ強くなったな、という部分はあります。また『第九の波濤』の監修を手掛けている水産学部の高谷智裕先生は同期ですし、執筆にあたり水産学部の先輩から人づてに取材先を探してもらったりもします。水産学部は実習等があるので「同じ釜の飯を食う仲間」といった感じで、縦と横のつながりが強いように思います。その人脈が今に生きています。

高田 / 大学時代の思い出の場所がありますか?

草場 / 水産学部の捕鯨砲ですかね。漫画にも描きましたが、早朝訓練では本当に池に飛び込んでいたんですよ。

自分の興味を大切に挑戦し続ける
草場さんの姿勢に感動しました!



多文化社会学部1年

高田春歌

TAKADA Haruka

長崎の魅力を 漫画から発信したい

高田／コロナ禍で長崎に拠点を移されたと伺っておりますが、草場さんが感じる長崎の魅力を教えてください。

草場／やはり自然が豊かなところ、そして歴史の面白さですね。遠いヨーロッパから様々な国の文化がミックスされながら東へと伝わって日本に最初に入ってきたのが長崎でした。そんなことに思いを馳せながら、出島付近なんかを歩くと、とても面白いと思います。漫画を描く中で長崎のそういう魅力を発信していけたらと思っています。『第九の波濤』でも長崎の全地域を描きたいという思いもあります。東京にいた頃と違って今はいつでも長崎県内を取材できますしね。

村瀬／今後やってみたいことは

ありますか。

草場／長崎に帰ってきたからには色々なことをやってみたいと思っています。シーカヤックを始めたり、アマチュア無線の免許も取得しました。取材先としては対馬や西九州の歴史にも興味があります。

村瀬／海だけでなく、興味の幅がとても幅広いですね！

草場／広く浅くのような気もしますが、後になって何かの拍子で「これ使えるな」という場面に出くわしたりもします。

後悔しない人生を 送ってください

高田／漫画家というお仕事は毎週締め切りがあってとても多忙なイメージがあります。草場さんはどのようにリフレッシュされていますか。

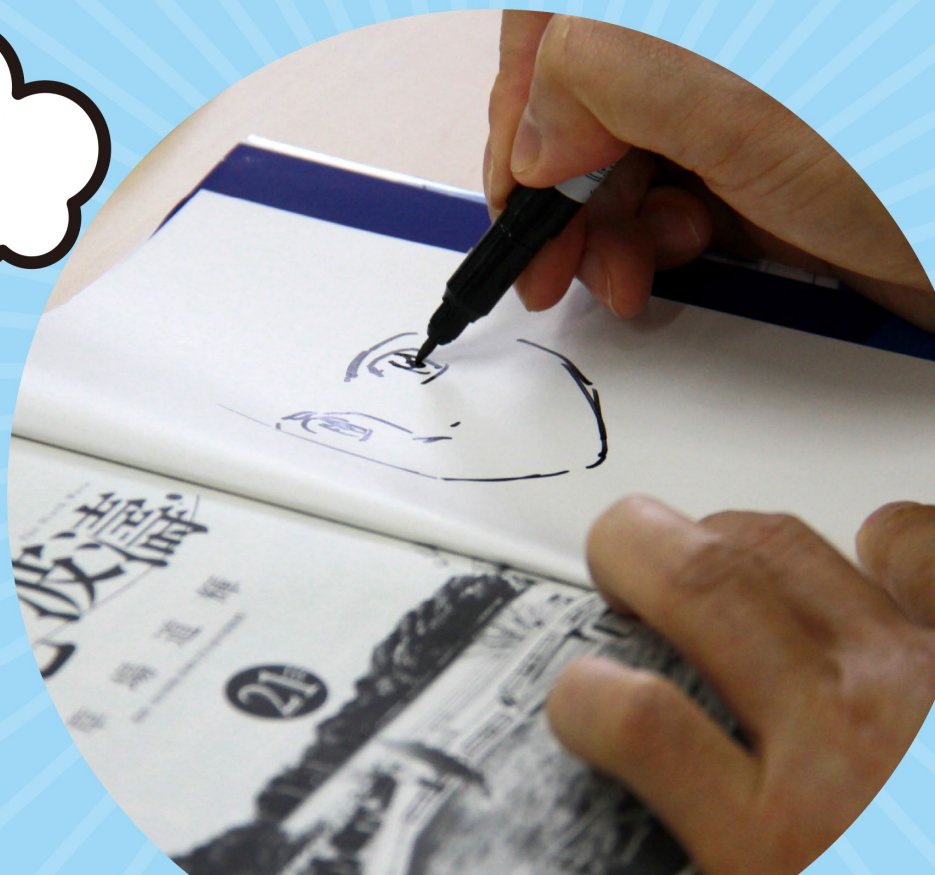
草場／ずっと椅子に座っている

仕事なので、暇があれば外に出て散歩をしたり釣りに行ったりしています。漫画の執筆を始めた頃はネタが何も出てこず描けなくなる、でも締め切りは迫ってくる…という状況もありました。ある時「ずっと考えてこんでいても意味がない」と気づいて、そういう時は寝るようにしました。寝ている間に頭の中が整理されるのか、起きたらふとネタが出てくることがあります。高田／最後に、卒業生へメッセージをお願いします。

草場／今の学生さんたちは僕らの時よりもしっかりされていると思うので、あまり言うことがない気がします。しいて言うなら「後悔しない人生を送ってください」。何もしなければ人生は長いですが、何かをするには人生はとても短いように感じます。

高田・村瀬／本日はお忙しい中、ありがとうございました！

「第九の波濤」を読むと長崎大学、そして長崎という場所への想いが深まるはず！ぜひ読んでみてください！



Who's Who Our University

長崎大学出身の先輩たち



下村 脩 SHIMOMURA Osamu

(1928～2018)

2008年ノーベル化学賞受賞

薬学部 (旧:長崎医科大学附属薬学専門部)

※掲載五十音順

企業TOP

大日本コンサルタント

代表取締役会長
新井伸博
工学部



上原成商事

代表取締役社長
上原晋作
経済学部



カネミツ

代表取締役社長
金光俊明
工学部



TOTO

代表取締役 会長
兼 取締役会議長
喜多村 円
経済学部



TOTO

代表取締役
社長執行役員
清田徳明
経済学部



双日九州

代表取締役社長
香田篤志
経済学部



ヴィレッジヴァンガード コーポレーション

代表取締役社長
白川篤典
経済学部



福岡中央銀行

代表取締役会長
古村至朗
経済学部



活躍中の 先輩たち

秋野公造

医学部
参議院議員

草場道輝

水産学部
『週刊少年サンデー』で連載中の長大水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』の作者

国光あやの

医学部
衆議院議員

中村明俊

教育学部
『聖水』で第124回芥川賞を受賞。ペンネームは青来有一

福地茂雄

経済学部
アサヒビール 社長・会長、
日本放送協会 (NHK) 会長
などを歴任

藤原謙次

経済学部
ローソン、ファンケル、カカオコム、サンドラッグなどにおいて重要ポストを歴任

渡辺 航

教育学部
『週刊少年チャンピオン』で連載中の漫画『弱虫ペダル』の作者



森田稜也さん

経済学部4年

インタビュー
田中藍子さん
(環境科学部2年)

大学は挑戦できる場所

自治体とともに学生のキャリア支援

キャリア支援団体「Lensa(レンサ)」の代表を務め、就活イベントの企画・運営を行ってきた森田稜也さんにインタビューを行いました。

田中／「Lensa」はどのような団体ですか。
森田／長崎大学経済学部の学生で構成されるキャリア支援団体です。就活イベントの企画・運営やSNSでの発信、就活生への個別面談を通して就活を支援しています。また、長崎県庁や長崎市役所等の自治体との合同企画も積極的に展開しています。

田中／「Lensa」の代表として活動する中で、特にどのようなことが大変でしたか。

森田／自治体や他大学の学生団体など、特に学外の方と関わるイベントは規模も大きいので、より責任を感じるものでした。

チームを引っ張ったり最終的な決定を下したりしなければならず、まず自分が動かなければ始まらないという状況は予想以上に苦労しました。

田中／そのような責任ある役割を引き受けるにあたって不安はなかったのでしょうか。

森田／もちろん最初は不安でいっぱいでした。ですが、これまで代表という立場を経験したことがなかった自分にとって、成長できるチャンスだとも思いました。それに大学生はまだ失敗できる立場ですしね。その間に、いろいろなことに挑戦をして経験を積んでおいた方がよいかなと思ったのです。

田中／森田さんは県外のご出身ですが、卒業を前に長崎や長崎大学についてどのように感じていますか。

森田／実は、私は長崎大学が第一志望ではなく、最初はネガティブな感情もありました。しかし、長崎の人はとても優しいし、自治体の方々も我々学生に対して、一緒にやっという対等に接してくれました。「Lensa」の活動の他にも、アルバイトやゼミ活動、プログラミングス



ホテルニュー長崎でのイベント開催の様子

クールや趣味の旅行も含めて、様々なことに挑戦する機会を得ました。幅広く学び、分かることが増えていく中で、いろんな人の価値観を受け入れるようになったと思います。結果として今は、長崎大学に来て良かったと思っています。そして、そのような経験の中で、自分がやりたいことは人と関わる仕事だということも見えてきたのです。

田中／最後に、森田さんのこれからの目標を教えてください。

森田／まずは入社する人材サービス業界の会社で「顧客にとってなくてはならない人材」になるために努力していきたいです。自分は活躍できるのか不安でいっぱいですが、大学生活で経験したことに自信を持って、仕事をこなしていきたいです。



Lensaのイベント後の集合写真

田崎千春さん

教育学部4年

インタビュー
三原凜奈さん
(環境科学部3年)

流されたいから流されてみる

その先にやりたいことが

皆が自分らしく、自分を愛して生きてほしい。若者が生きやすい社会の実現を目指して、対話・体験型のワークショップを行っている「あいらしくプロジェクト」。そんなプロジェクトの発起人である田崎千春さんにインタビューを行いました。

三原／「あいらしくプロジェクト」とはどのような団体でしょうか。

田崎／私が大学2年生の時に参加した長崎市の事業「ながさき若者会議」の中で、教育系に興味があったメンバーと意気投合して結成しました。

「あいらしくプロジェクト」のワークショップは、参加者はまず「何に興味があるか」など自分を見つめ直す複数の質問に回答。次にグループ内で発表・共有し、最後に発表を聞いた人たちが

その人の「いいとこカード」を作るという内容です。これまで県内の中学校や施設など約10カ所で実施してきました。

三原／活動を行う中で印象的だったことはありますか。

田崎／自分を見つめ直す過程で泣き出した参加者がいました。私も少し慌てたのですが、周囲の暖かい声掛けで、気持ちを素直に出せる空気が自然に生まれていたのです。結果として泣き出した参加者も、過去の自分を前向きに捉え直すことが出来たようです。この様子を見て、このプロジェクトの価値を実感できました。

三原／大学生生活を振り返って成長した点を教えてください。

田崎／自分の気持ちに正直に、積極的にやりたいことができるようになりました。また、自分が積極的に動いていると、自然と周りに動いている人たちが集まってきます。自分がやりたいことを口に出していると、周りの人の人脈が他の人とつないでもらったり、「一緒に行こう」と声をかけてもらったりして自分の行きたい方向に連れて行ってもらえます。誰か



長崎県内の高校でのワークショップの様子

に何が言われたから流されるのではなく、自分が流されてみたいから流されてみるという感覚です。その結果、自分のやりたいことの形が見えてきて、自分の気持ちに正直に何でもやってみようという気持ちが生まれたと感じています。

三原／最後に田崎さんの今後の目標を教えてください。

田崎／これまで平凡に生きてきた自分でも、挑戦して様々な活動をすることができたので、周囲の人が私の姿を見て「自分もやってみよう!」と思い挑戦できるような、良い刺激や影響を与えられる存在でありたいと思います。そのためには、健康に過ごし、その場を楽しむ心を忘れずにいたいです。



長崎県内の中学校でのワークショップの様子

Student Activities

活躍した学生たち

長崎大学学園祭「長大祭」を開催

2022年10月29日・30日に長大祭を開催しました。コロナの影響により2020年・2021年は学内限定での開催でしたが、2022年は3年ぶりに学外の方にもご来場いただき、バザーも復活しました。2022年のテーマは「新晴」。「新しい空。晴れわたる空。」制限された時代から新しい時代への変化に希望を込めて掲げられました。ステージ企画では24団体が出場し、バザーは13団体が出店しました。同時に工学祭・鴻洋祭（水産学部学園祭）も開催され、文教キャンパスは多くの来場者で賑わいました。



空手道部が 全国国公立大会で準優勝

創部から今年度でちょうど70年の節目を迎える長崎大学空手道部は2022年11月に行われた全国国公立大学空手道選手権大会に男女ともに出場し、男子団体組手において準優勝という成績をおさめました。2021年の同大会では女子団体組手3位、という結果をおさめており、男女ともに来年度こそ優勝が期待されます！



Instagram

ポーランドで ウクライナ避難民を支援

今回経済学部を卒業する橋本和樹さんは、2022年5月末より約2週間にわたりポーランドにおいて、ウクライナ避難民の支援ボランティアに参加しました。その背景には、自身が被爆地長崎出身であることや、いまだ独立戦争の傷が残るクロアチアへの留学経験がありました。ロシアのウクライナ侵攻のニュースに接して「戦争を止められなくても、人々の心の傷を癒す手助けをしたい」「様々な情報に容易にアプローチできる現代だからこそ、実際に現地へ赴き何が起きているのかを知ることには価値があるのでは」という強い想いが芽生えたそうです。避難施設での活動を通して戦争の恐ろしさ、平和の尊さを実感し、改めて日本・長崎が世界に誇れる魅力に気づいたという橋本さん。今後も同窓生とともに日本と長崎を盛り上げていきたいと考えています。



フットサル部FORZAが 全国大会5位タイに

長崎大学フットサル部FORZAは2022年夏に行われた全日本大学フットサル大会において全国5位タイという成績をおさめました。惜しくも準々決勝で前回優勝チームに敗れたものの、九州大会では2連覇を成し遂げました。さらに2023年1月にはこの春開催される全日本フットサル選手権への出場権を獲得しました。部員の中には現在プロの下部組織でプレーしている選手もいるそうです。これからも高みを目指し活躍し続けるFORZAから目が離せません！



「ながさき海援隊」が 長崎海上保安部から表彰

長崎大学サークル「ながさき海援隊」がこれまでの清掃活動による環境美化への貢献が評価され、第27回「海の日」記念式典海事功労者等表彰式において、長崎海上保安部から表彰を受けました。ながさき海援隊では、毎月1回程度、主に長崎県内の海岸等の清掃活動をしており、活動期間は8年となりました。また、他団体主催のボランティア活動にも積極的に参加しているほか、清掃活動だけではなくイベント活動や出張講座など環境啓発を広める活動も行っています。総計89回に上る清掃活動による環境美化への貢献が評価され、今回の表彰に繋がりました。

途上国の子どもたちに教育の機会を 「STUDY FOR TWO 長崎大学支部」

長崎大学サークル「STUDY FOR TWO 長崎大学支部」は、講義で使わなくなった教科書を寄付してもらい、定価の半額以下で必要な学生へ再販売し、そこで得られる利益で途上国の子どもたちへの教育支援を行っています。学生は教科書を安価に購入することができ、それが途上国の支援に繋がる、まさにwin-winのボランティア活動です。

卒業生の皆さん、使わなくなった教科書がありましたら、是非寄付をご検討ください。



Instagram



Twitter

ウクライナ避難民学生の 受入れを開始



2022.5.26～

長崎大学は、ロシアのウクライナ侵攻により、学びを中断せざるを得なくなったウクライナ避難民学生や研究者に学びを継続する場を提供することを目的として、2022年3月に受入れを表明しました。受入れにあたっては長崎大学初となるクラウドファンディングを実施し、591名の方から1,226万円ものご寄附をいただきました。そして、2022年5月26日に、最初のひとりを受け入れて以来、2023年1月1日までに、18名の避難民学生および1名の研究者を受け入れています。避難民学生は日本語の授業や、日本文化・長崎の歴史などを学ぶプログラム、教養教育の授業などを受講しています。写真は日本文化を学ぶプログラムの中の浴衣着付け体験の一枚。



葉國聖交流会館 完成式を実施 2022.7.7

本学医学部の卒業生である医療法人社団錦昌会理事長兼ちはら台整形外科院長の葉國聖氏からのご寄附をもとに、「葉國聖交流会館」が竣工しました。文教キャンパスの北門のそばに位置する当館は、セミナールームやゲストルームのほか、キッチン併用のコミュニティ・ラウンジを完備しています。留学生同士や日本人学生との交流の場として活用し、留学生のご家族の宿泊施設という役割も果たしています。日本文化を学び、かけがえのない時間を過ごす当館が文教キャンパスの新たな顔となっています。



長崎大学図書館 オリジナルの『図書パン』を発売

本学附属図書館経済学部分館で、オリジナルパン『図書パン』の販売を開始しました。図書館への入館者数減少や周辺飲食店の少なさから、入館促進と長期滞在を目的に導入した自動販売機の目玉商品として企画しました。このパンは、手にした人が良いアイデアに恵まれることを願って、「案と館」をかけたあんパンとなっています。開いた本の絵柄とそこに「図書」の文字を焼き印した表面のデザインがユニークなポイントで、日々多くの方々に親しまれています。一個130円。



「プラネタリーヘルス」 翻訳本が完成 2022.3.10

長崎大学発の「プラネタリーヘルス」翻訳本を出版しました。本書では「地球の健康と人間の健康」を支え続けるために有効な「答え（解決策）」を探求し、私たち自身の意識変容、行動変容を促す」という、本学の「プラネタリーヘルス」実現への取り組みに基づき、気候変動、災害、それに起因する感染症や様々な疾患、さらには紛争、人口、食料問題等の幅広い視点から、これらが私たちの健康や幸福へ与える影響についてまとめています。河野茂学長をはじめ、本学全10学部の教員が翻訳に携わりました。2021年度に全学部必修科目として開設された「プラネタリーヘルス入門」のテキストとして使用されています。



新型コロナウイルスワクチンの 職域接種を実施 2021.7.13～

長崎大学は2021年7月13日から新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しました。文教キャンパス総合体育館において行われたこの接種では、長崎大学の学生・教職員だけではなく、長崎県内の他の大学・短大・高専及び県内企業等の接種希望者にもワクチン接種を行いました。約2万人規模で実施されたこの職域接種により、本学学生の7割以上が1回目、2回目のワクチン接種を完了しました。



情報データ科学部 設置 2020.4.1

情報データ科学部は長崎大学の10番目の学部として2020年4月1日に設置されました。インフォメーションサイエンスコース（ISコース）とデータサイエンスコース（DSコース）の2つのコースがあり、実社会で活躍する実践的な人材を養成することを目指しています。2023年度からは学生定員が110名から120名となるほか、2024年度には学部入試への文系入試導入、第1期生の卒業、大学院の設置が予定されています。



キャリアセンター設置 2019.10.1

2019年10月1日に、全学部学生を対象とした総合的なキャリア支援のさらなる充実を目指す「キャリアセンター」を設置しました。このセンターでは、社会で幅広く適用する能力を育て、自己形成を促すための活動を行うことで、学生のキャリア選択の幅を広げ、生涯にわたるキャリア形成を支援していきます。キャリアセンターは文教キャンパスの「学生会館1階」に開設しています。

齋藤寛元長崎大学長 逝去 2019.8.14

元長崎大学長である齋藤寛長崎大学名誉教授が、2019年8月14日にご逝去されました。享年82歳でした。齋藤先生は、昭和58年12月に長崎大学医学部教授に就任され、平成10年10月から平成14年3月まで医学部長を、平成14年10月から平成20年10月まで第13代長崎大学長を務められました。長年にわたって医学教育に精進されるとともに、研究面においては、主として衛生学及び環境保健分野で優れた業績を挙げられました。



卒後の
ネットワーク
作りに

長崎大学

校友会

従来からの同窓会に加えて、在学生、卒業生、教職員等が共に会員となって情報を共有し、交流・連携を深めるとともに、大学の教育・研究や社会貢献等の取組みに対する理解や協力を促進するために、2018年10月に「長崎大学校友会」が発足しました。在学時に所属した部局に限らず、大学全体の最新の情報をお届けするほか、会員相互の交流事業のご案内なども行っています。

〈活動内容〉

① メールマガジンによる情報発信

校友会では毎月月初に長崎大学の注目情報や教育・研究成果、イベント等の情報をまとめて配信しています。

在学生、教職員には自動的に配信されますが、卒業生・修了生は登録が必要となります。右記2次元コード(校友会メールマガジン登録サイト)から是非ご登録ください。



メールマガジン

② ホームカミングデー等の交流会の開催

校友会では会員相互の情報共有や交流・連携を深めていくため、ホームカミングデーや県内外で交流会を開催しています。社会人として異業種ネットワークや人とのつながりを広げる一助にもなります。

ホームカミングデーを 3年ぶりに開催

2022年10月29日(土)、文教キャンパスの文教スカイホールにおいて11回目の長崎大学ホームカミングデーを開催し、本学の卒業生や在学生、教職員など多くの方々にご参加いただきました。

講演会では、経済学部のOBであり、TOTO株式会社代表取締役会長でもある喜多村円様を講師にお迎えし、TOTOの創業理念と継承、それに基づいた経営戦略や使命、さらにそれらを社員が共有することの重要性についてお話いただきました。

卒業生・在学生交流会では、学生によるアトラクション披露を楽しみつつ、在学生と卒業生との交流も見られました。



東京交流会を開催

2022年11月11日(金)、本学とご縁のある関東地区の卒業生や共同研究企業の代表者などをお招きし、長崎大学東京交流会を開催しました。

第1部では、始めに学長から、長崎大学の現状や、大学院(情報データ科学分野)など今後の展望についてご報告いただきました。続く講演会では、熱帯医学・グローバルヘルス研究科長の北瀬教授に、感染症研究・教育などの取組み、5-ALA研究の今後の方向性など、最先端の知見をご紹介いただきました。

第2部では、交流懇談会を開催し、和やかな雰囲気の中、多くの方が交流し、親睦を深められ、盛況のうちに閉会となりました。



事務局

長崎大学広報戦略本部 校友会・基金室

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL.095-819-2155 〈メール〉nukikin@ml.nagasaki-u.ac.jp

校友会
ホームページ



大学を支える側に

なってもらえませんか

西遊基金

長崎大学では、卒業生の皆さんからの寄附によって、学生生活や教育研究の充実が図られています。在学生の修学支援はもちろん、サークル活動やキャンパス整備、さらには教育・研究など幅広い用途への寄附を受け付けています。

◎ 西遊基金の構成

6つの支援事業ごとの基金によって構成されています。

大学運営支援事業基金	大学全体の活動を広く支援することを目的とした基金
修学支援事業基金	経済的理由により修学が困難な学生を支援することを目的とした基金
研究等支援事業基金	学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対するこれらの者が行う研究への助成又は研究者としての能力の向上のための事業に充てる基金
サークル活動支援基金	学生がサークル活動を行う上で必要な経費(備品の購入、遠征費等)を支援することを目的とした基金
キャンパス環境整備基金	キャンパスモルをはじめてとしたキャンパス整備のための支援を目的とした基金
グローバルヘルス基金	グローバルヘルス領域における教育研究を支援することを目的とした基金

◎ 西遊基金による支援実績の一例

サークル
団体の支援

新型コロナによる 経済困窮学生の支援

令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アルバイト収入激減等で生活が困窮している学生581名に、1人当たり3万円/月を最長2カ月間支給しました。令和3年度は、コロナ禍による影響で困窮している学生232名に、食費や教材費に充ててもらうため、1人当たり500円/日を3カ月間、生協クーポン券として支給する支援を実施し、令和4年度も引き続き支援を継続しました。

女子サッカー部

光るサッカーボールを
購入予定



文教キャンパスのグラウンドにはナイターがなく、練習内容が限られ、十分な練習を行うことができませんでした。そこで、今回のご寄附で光るサッカーボールを購入させていただく予定です。ボールだけでも見えるようになれば、今より暗い中でも質の高い練習を行うことができますと思います。

全学男子バスケットボール部

バスケットボール等
備品を新調



ご寄附により、バスケットボールやクーラーボックスなど、部の備品を新調することができました。以前より数段良い環境で練習できることを嬉しく思います。昨年11月に行われた長崎学連では準優勝することができました。これからは1部リーグ昇格を目指して頑張ります。

RONRock部

機材購入や
ライブ資金に活用



今回いただいた寄附金はバンド練習で使用するマイクやモニター、ドラムなどの機材や、ライブハウスでライブを行う際の資金の一部に利用させていただきたいと思っています。新しい機材を使うことで、より良い練習、パフォーマンスにつなげることができることを嬉しく思います。

寄附払込方法のご案内



西遊基金
ホームページ

①専用の払込取扱票、②クレジットカード、コンビニ、Pay-easy(ネットバンキング)支払、③銀行振込からご選択いただけます。詳細は西遊基金ホームページをご覧ください。なお、個人の方は1口1千円で、3口(3千円)以上のご寄附をお願いいたします。



サークル
応援サイト

長崎大学

同窓会



多文化社会学部

絢翔会

〈メール〉

info@nagasakiuniversity-kenshokai.com

〈ホームページ〉

https://www.nagasakiuniversity-kenshokai.com

教育学部

一般社団法人 長崎大学玉園同窓会

〒850-0029 長崎市八百屋町36

長崎県教育会館内

TEL&FAX.095-824-5494

経済学部

公益社団法人 瓊林会

〒850-0003 長崎市片淵4丁目2-1

長崎大学経済学部内

TEL.095-821-4567

〈メール〉 info@keirinkai.or.jp

医学部

長崎医学同窓会

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

長崎大学医学部内

TEL&FAX.095-848-5484

〈メール〉 ryojun_do@ml.nagasaki-u.ac.jp

歯学部

歯学部同窓会

〒852-8588 長崎市坂本1丁目7-1

長崎大学医歯薬学総合研究科 歯科補綴学内

TEL.095-819-7692

〈メール〉 dousoukai@ml.nagasaki-u.ac.jp



薬学部

長薬同窓会

〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学薬学部柏葉会館内

TEL&FAX.095-844-6383

〈メール〉 jimukyoku@choyaku.jp

工学部

工学部同窓会

〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学工学部工学科

TEL.095-819-2907

〈メール〉 atada@nagasaki-u.ac.jp

環境科学部

緑友会

〈Facebook ページ〉

「長崎大学環境科学部同窓会 緑友会」

〈メール〉 ryokuyu.info@gmail.com

〈ホームページ〉 https://ryokuyuukai.localinfo.jp/

水産学部

鶴水会

〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学水産学部内

TEL.080-6471-5965

〈メール〉 kakusukai_jimu@yahoo.co.jp

熱帯医学研究所

熱研同門会

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

長崎大学熱帯医学研究所内

TEL.095-819-7869

〈メール〉 domon@tm.nagasaki-u.ac.jp

同窓生向け

Information



卒業(修了)証明書等の発行申込

令和5年4月1日以降、卒業(修了)証明書・成績証明書等は「証明書発行サービス」を利用して申込を行ってください。各種証明書は全国のコンビニエンスストアで発行できます(有料)。ただし、在籍していた学部・研究科、証明書の種類によってはコンビニエンスストアで発行できない場合があります。詳細については、長崎大学HP内「各種証明書の発行申込について」をご覧ください。



各種証明書発行



卒業生向け就職・キャリア支援

長崎大学キャリアセンターでは卒業生が就職活動を行う場合(転職・Uターン等)にも、就職・キャリア相談、応募書類の添削、面接練習など必要な支援を行っています。キャリアセンターHPでは、本学卒業生の採用を希望している県内企業からのメッセージや企業情報なども紹介していますので、是非ご活用ください。



キャリアセンター



公開講座・リカレント教育

長崎大学では、地域の方々に様々な知的学習の機会を提供することを目的に「公開講座」や、社会人の学び直しを支援するための取組として「リカレント教育」を実施しています。年間を通して幅広い分野のプログラムを用意していますので、是非お申込みください。



生涯教育センター



広報紙Choho

「広報紙Choho」は長崎大学が発行する情報誌です。大学と地域の垣根を取り払うことをコンセプトに、2002年10月より発行しています。卒業生の皆様には、同窓会会報誌に同梱して発行していますが、希望に応じて最新号をご自宅へお届けすることも可能です。詳しくは、Choho最新号(vol.81)をご覧ください。



Choho



長崎大学SNSサイト

長崎大学はSNS(Facebook・Twitter・Instagram・YouTube)でも、積極的に情報発信を行っております。下記QRコードからは是非ご登録ください。



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube

編集・発行
長崎大学広報戦略本部
校友会・基金室

TEL.095-819-2007
FAX.095-819-2156
kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

編集協力

- ◎高田春歌(多文化社会学部1年)
- ◎村瀬晴香(教育学部3年)
- ◎上原拓哉(情報データ科学部1年)
- ◎三原凜奈(環境科学部3年)
- ◎田中藍子(環境科学部2年)